

長崎市版 DMO 研究会 第 3 分科会 第 5 回議事録 (要約)

1. 日時 平成 29 年 11 月 22 日(水) 13:00~15:00
2. 場所 アマランス会議室No.3
3. 参加者 アドバイザー：DMO 推進機構 大社代表理事
専門委員：長崎大学経済学部 山口准教授
長崎県観光連盟 加藤専務理事
長崎都市経営戦略推進会議 加藤事務局長
長崎経済同友会交流の産業化委員会 小田副委員長
長崎商工会議所 中尾業務部長
事務局：長崎市観光推進課 中島主幹、松山
長崎国際観光コンベンション協会
外園本部長、川崎統括部長、寶珠統括部長、森下部長、
4. 資料 長崎市版 DMO 官民連携事業一覧
オール長崎の推進体制の構築に向けて
5. 主な議事内容
 - (1)目的
 - ・官民連携について
 - (2)意見概要等
 - ①長崎市版 DMO 官民連携事業一覧について、長崎市観光推進課 中島主幹より要約説明。
 - ②オール長崎の推進体制の構築に向けて、外園本部長より要約説明。
(意見等)
 - ・長崎市と連携する際に、問題意識、ビジョン、課題が共有されてない。事業の優先順位が誰も決められなく進まない。
 - ・DMO と長崎市の事業の役割分担を明確にし、優先順位をつけていきたい。
 - ・会議所としては、観光消費拡大委員会を設置し、今後 DMO と連携して推進する。
 - ・都市経営戦略会議について、現在観光のワーキングは休止している。産学官がどう動くべきなのかそれを踏まえて活動開始したい。DMO 各種プロジェクトに支援していきたい。
 - ・長崎市全体での DMO の窓口、長崎市 DMO 推進室みたいな窓口の一本化があるべきでは。
 - ・窓口の一本化は必要。各団体事業の洗い出しも必要と思う。
 - ・民の計画に対し、DMO が支援していく姿も必要。
 - ・近隣市町間との連携会議はしくみ化して定例的に行う事が肝心

- ・産業界との連携は長崎市としては苦手な部分である。商工会議所等を通じて拡充したい。
- ・同友会としては、DMO ワーキンググループへ稼ぐことを支援していきたい。
- ・11月末までに、分科会での意見をまとめ、資料を作成に入りたい。
- ・会費について、DMO は地域住民のために頑張っている。会費を払っているいないに関わらず皆さんがベネフィットを得ている。会費についても今後検討する必要がある。
- ・DMO と長崎市は密接な連携を図るべき

以上